

～笑顔が絶えることのない『住まい』であり続けることを願ってお届けします～



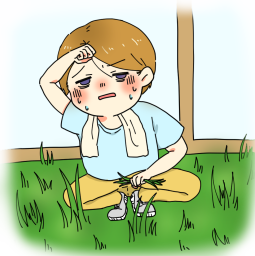
8月号

住まいの便り



夏によ～く成長するものと言えば草でしょうか？とにかく雨さえ降れば、ニョキニョキと背丈が伸び、あれよあれよという間に地面は雑草で覆いつくされます。

そうならないようこまめに草取りはしたいのですがなにせ暑い時季のこと。熱中症になっては元も子もありませんから、朝の早い時間か夕方の遅い時間にしか草取りはできません。



しかも、しゃがみっぱなしでは、腰も痛くなってしまいますので、一回の作業時間はそんなに長くは取れません。

そこで短い作業時間で毎日、コツコツと草取りを続けることになるのですが、家を一周している間に、もう次の草が出てきている状態で、夏になるたびにため息ばかりついています。

草取りが嫌なら全部コンクリートで固めてしまえばよいのでしょうか、春先に咲くかわいらしい雑草や料理に重宝する青シソなどが消えてしまうのは寂しいのです。というわけで、今日も頑張って草取りをいたします。

新しい生活様式に合わせていこう

仕事の仕方が少しずつ変わってきています。リモートワークを行う人も増えてきており、それに応じて家の役目も変化してきています。今までは家というのは、仕事が終わったら帰る場所でしたが、今後は仕事もバリバリ行う場所へと意識が変わっていくことでしょう。

また仕事に限らず学校においても、今後オンライン授業が増えてくる可能性はあります。

そうしたことを考えると、ネット環境の確保やパソコン、周辺機器の準備はもちろん、リモートワークのための場所づくりも、今後の家造りでは重要なポイントになってくるのではないのでしょうか。

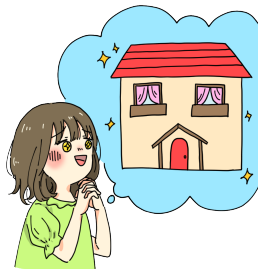
リモートワークにおいては「背景が映り込むのがいやだ！」という理由で、バーチャル背景を利用する人も多いようです。ただバーチャル背景を利用するとパソコンが重くなりますし、むしろプライベート空間が映っていた方が、何となく親しみを感じる部分もあったりします。



また仕事をするには集中できる環境が必要ですから結局、背景を加工するのではなく、そうした落ち着いた空間づくりが必要になってくるのではないのでしょうか。理想はリモートワークを行う家族全員分のリモート部屋があることですが、そこまでの環境を整えなくても、可動式の間仕切りを取り付けるなど、工夫できることはいろいろあるでしょう。ぜひそういったご相談も、お気軽にお申しつけくださいね。

購入するタイミングの判断材料にはこんなことも

「いつかはマイホームを」と思っている方にとって購入のタイミングは悩みのひとつでしょう。「結婚を機に」「転勤・転職するため」「住まいが老朽化したため」「税制・住宅ローンのメリットがあるため」などなど。経験者の「購入を思い立った理由」は実にさまざまですが、ここでひとつ知っておいていただきたいのが「団体信用生命保険」です。一般的に民間金融機関の住宅ローンを利用するには、団体信用生命保険の加入が必要になりますが、健康状態によっては加入できないことがあります。そうすると住宅ローンが利用できなくなります。また団体信用生命保険では、特定の条件を満たせば生前でも住宅ローン返済が不要になる「三大疾病保障」などの特約を付けることもできますが、健康状態の条件を満たしても年齢によっては加入できないことがあります。誰しも年を重ねるごとに病気のリスクは高まりますから、このようなこともマイホームを購入するタイミングの判断材料のひとつとして頭の隅に入れておきたいですね。



ある日突然! それは、つまり!

ある日、突然やってくるもの。それがトイレの詰まりです。いつも通り気持ちよくトイレから出ようとする、水が流れずあふれそうになるのです。そんな時、役立つもの。それが、トイレのシュポシュポです。「なんだ、それ?」と思われたかもしれませんが、ほとんどの人がこれの正式名称を知りません。先端がゴム製でおわんのような形をしたトイレ詰まり専用の道具です。もちろん「トイレが詰まった」とご連絡いただければ、当社で対応させていただきますが、トイレの場合は急を要する場合も少なくありません。



また、もしそれが真夜中だったら?と考えると、一家に一つ転ばぬ先の杖としてトイレの詰まり取りの道具は準備しておかれるのがよいでしょう。ちなみに、このトイレの詰まり取りの道具ですが、名称は「ラバーカップ」もしくは「通水カップ」といい、和式トイレと洋式トイレでは形状が異なりますので注意が必要です。最近では、どちらにも対応できるものもあるので購入前に一度、確認しましょう。

有限会社 建築サポート

発行者：高井弘一郎

